



おおみなみ

笑顔あふれる 大南

～自分もよく、相手もよく、みんなもよく～



令和6年度

練馬区立大泉南小学校

校長 田村 亜紀子

令和7年 2月 28日

TEL03-3922-1371

「旅立ちの日に」

校長 田村 亜紀子

いよいよ、今年度の最後の月を迎えます。4月に始まったこの学級での生活も、いよいよ終わりです。学校でも、子供たちとともに、この1年間を振り返っているところです。自分や友達、みんなについて、その成長や頑張りを認め合うとともに、課題となることは明確にして、新しい学年へのステップとしていきます。

さて、卒業式の定番曲として歌われ続けている「旅立ちの日に」ですが、この曲は、1991年3月に、埼玉県秩父のとある中学校から始まりました。当時、その年の春に着任した校長先生が、歌声の響く学校にしようと、様々な取組をされたそうです。そして、その年度末、校長先生が作詞、音楽教諭が作曲をしたこの歌が生まれました。「白い光の中に 山なみは萌えて」と、中学校の窓から見えた秩父の山々の景色から始まります。1番は、そのまま、旅立ちの姿を歌い上げます。2番には、日常の教室の姿が描かれています。「懐かしい友の声 ふとよみがえる 意味もないいさかいに 泣いたあのとき 心通ったうれしさに 抱き合った日よ みんなすぎたけれど 思い出強く抱いて」そして、改めて力強く旅立っていく姿を歌い上げます。

私は、この歌が大好きですが、特に、2番の歌詞を聴くと、心が震えます。学校には、様々な行事があり、その都度、目標をもちながら、みんなで乗り越えていき、成長していきます。一方で、日々の授業を通して、知識を獲得すると同時に、学び方や考え方、よりよく生きるための力を身に付けていきます。その学校生活を支える何気ない日常、友達や多くの人との交流を通して、より深い関係をつくっていきます。その日常の姿を歌っている2番の歌詞は、人と人が分かり合える難しさと嬉しさを端的に歌い上げています。

日々の活動にこそ、成長の糧があります。はじめは小さな種ですが、積み重ねた日々は、その種に少しずつ水や栄養を与えています。いつか、芽を出し大きな花を咲かせます。一人一人の中に、今、どれくらいの葉が育っているのでしょうか。その成長を見届けながら、それぞれの学級でも、しっかりとまとめていきます。そして、その学年の「旅立ち」をし、次の学年へと羽ばたいていきます。新しい学年や学校への期待はもちろん、不安もあるでしょう。それらも含めて、新しい世界へのバネとしていかなければなりません。「前はこうだったのに」と、後ろを振り返るのではなく、「今までこうだったね」と、想いを大事にしながらかに進み続けていくことが大切です。そのためにも、限られた時間を有意義に過ごし、笑顔で最後の日を迎えられるよう、支援してまいります。

結びになりますが、保護者、地域の皆様におかれましては、今年度も、本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。引き続き、令和7年度も、よろしくお願いいたします。

3月の生活目標

学校をきれいにしよう

1年間、本校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございました。

新年度の学級数確定のため、転出予定がある方は早めに担任にお知らせください。